

植物多様性センターの「センダングサの仲間」

ひっつき虫の代表選手であるセンダングサの仲間は、瘦果(果実)が細いセンダングサの仲間と、広く扁平でかつ総苞片も大きいタウコギの仲間に分けられます。最近減少傾向のアメリカセンダングサはセンダングサとつきますが後者です。当センターでは在来(とはいえ古い時代に帰化したといわれる)のセンダングサと、熱帯アメリカ原産で明治以後に広がったコセンダングサが見られます。小センダングサという名前ですが、大きさも変わらずよく似ていて見わけ難いので、写真で違いを見てみましょう。



センダングサの頭花、舌状花は普通5個、総苞片が線形



コセンダングサの頭花、舌状花はなし、総苞片はへら型



センダングサの葉
普通2~3回羽状に分裂



コセンダングサの葉
普通1回羽状で小葉は3か5